

南志見小学校 教育目標及び教育方針

1 教育目標

『自ら考え よく学ぶ 心豊かでたくましい子の育成』

2 めざす児童像

◇進んで学習する子〈知〉 ◇進んで挨拶する子〈徳〉 ◇進んで運動する子〈体〉

3 めざす学校像

- ◇児童一人一人がさまざまな感動を通してはつらつと個性を發揮することのできる学校
- ◇保護者や地域住民が安心して通わせたいと思う学校
- ◇児童や保護者、教職員が愛着と誇りをもてる学校

4 学校経営の基本方針

- (1) 感動のある授業を通して、自ら学び、自ら考え、自ら伝え合う児童を育成する。
- (2) 自他の存在を認め合い、個々が自己有用感を持ち行動する心豊かな児童を育成する。
- (3) 健康や体力の増進に取り組み、元気でたくましい児童を育成する。
- (4) 児童理解を深め、一人一人の自己実現を支援する個に応じた教育活動を行う。
- (5) 地域と連携し、地域のよさを生かし、地域に根ざした教育活動を展開する。
- (6) 一人一人の教職員が個性を生かし、教育目標の具現化に向かって協働して学校教育を推進する。

5 今年度の学校経営の基本方針の重点とその具体化

「感動いっぱい」の南志見小学校をめざし、保護者・地域とともに歩む学校づくりを行う

(1) 学力の向上〈進んで学習する子〉

【感動のある授業づくり】

- ① 学ぶ児童にとって「分かった」「楽しい」「ジーンと心にしみる」など、「感動」のある授業を展開することで、学びへと向かう力を高める。
- ② 教師自身も教えることの喜び、児童と共に学ぶことの「感動」が味わえる授業を大切にし、より良い授業を追求する。
- ③ 教師一人一人が授業力を向上させる校内研修の充実を図る。

【感動のある授業を支える学習基盤の充実】

- ① 読書体験を充実させることで、語彙の知識、思考、判断、表現、感動の注入や蓄積を図り感性を豊かにする。
- ② 名文に接する機会を設け、洗練された美しい表現をじっくり味わうと共に、暗唱することを通して自分の語彙に生かし豊かな表現ができるようにする。
- ③ 感動したことを文章等において表現することで、自分の思いや考えを、適切な言葉で伝えることができるようにする。

(2) 豊かな心の育成〈進んで挨拶する子〉

- ① 道徳・学級指導において「命の尊さ」を学び、生きていることの素晴らしさ「感動」を通して、自他の存在を大切にできるようにする。
- ② 互いに尊重し合い、気持ちの良いあいさつ、言葉遣いができるようにする。
- ③ 教育活動全般を通して必ず一人一人に活躍の場を設け、自己有用感を実感させる。
- ④ 地域の人や自然、伝統行事を学ぶ機会を設け、その良さ素晴らしさに触れて「感動」を味わうことで、心を豊かにし、地域に誇りと愛着が持てるようにする。

(3) 体力の向上〈進んで運動する子〉

- ① 家庭と連携した安全教育・健康教育を推進し、心身ともに健康な児童を育成する。
- ② 「体を動かす楽しさと爽快感」が実感できる運動習慣の定着に努める。
- ③ 「スポチャレいしかわ」「いしかわっ子駅伝」等に積極的に参加し、自身の新たな挑戦心を育み、努力しやり遂げることで生まれる達成感「感動」を味わうことができるようにする。

(4) 安心安全な学校

- ① 児童・保護者が安心して通い、通わせることのできる安全な学校を目指す。
- ② 児童理解を深め、児童のそばに「真実」があることをとらえ注意深く観察し児童の実態把握に努める。
- ③ 風通しの良い学校づくりを行い、気づいたことを報連相し合える体制をつくる。
- ④ 危機管理は危機を作らないことであることを肝に銘じ、未然に防ぐためのマニュアルを定期的に確認し見直す。
- ⑤ 事例等を学ぶ機会を設けて、自己管理や服務規律を意識しリーガルマインドを高める。

(5) 家庭、地域との連携

- ① 地域の声や、保護者の思いを大切に受けとめていく。
- ② 地域の人材・素材を活用・教材化し、地域の教育力を生かした教育課程を編成し実践する。
- ③ 学校公開、授業参観を定期的に行い、地域に開かれた学校づくりを行う。
- ④ 学校、保護者、地域の連携を生かし、より良い学校教育の実現を目指す。

(6) 組織力の向上

- ① 学校経営参画意識の高揚を図り、各主任を中心に全職員が一丸となって組織的な校内指導体制を推進する。
- ② ベテランと若手が互いに学び合い、お互いの良さを認め、学校力を向上させる。

経営理念

「感動いっぱい」の南志見小学校をめざし、保護者・地域とともに歩む学校づくり

今日的な教育課題等

輪島市教育方針
石川県教育方針
関係法令等

めざす学校像

- ◇児童一人一人がさまざまな感動を通してはつらつと個性を發揮することのできる学校
- ◇保護者や地域住民が安心して通わせたいと思う学校
- ◇児童や保護者、教職員が愛着と誇りをもてる学校

児童の実態
地域の特徴、特性
保護者、地域住民の
願い

教育目標 『自ら考え よく学ぶ 心豊かでたくましい子の育成』

◇進んで学習する子〈知〉

感動のある授業を通して、自ら学び、自ら考え、自ら伝え合う児童を育成する。

児童理解を深め、一人一人の自己実現を支援する個に応じた教育活動を行う。

学力の向上

【感動のある授業づくり】

- ① 学ぶ児童にとって「分かった」「楽しい」「ジーンと心にしみる」など、「感動」のある授業を展開することで、学びへと向かう力を高める。
- ② 教師自身も教えることの喜び、児童と共に学ぶことの「感動」が味わえる授業を大切にし、より良い授業を追求する。
- ③ 教師一人一人が授業力を向上させる校内研修の充実を図る。

◇進んで挨拶する子〈徳〉

自他の存在を認め合い、個々が自己有用感を持ち行動する心豊かな児童を育成する。

児童理解を深め、一人一人の自己実現を支援する個に応じた教育活動を行う。

豊かな心の育成

- ① 道徳・学級指導において「命の尊さ」を学び、生きていることの素晴らしさ「感動」を通して、自他の存在を大切にできるようにする。
- ② 互いに尊重し合い、気持ちの良いあいさつ、言葉遣いができるようにする。
- ③ 教育活動全般を通して必ず一人一人に活躍の場を設け、自己有用感を実感させる。
- ④ 地域の人や自然、伝統行事を学ぶ機会を設け、その良さ素晴らしさに触れて「感動」を味わうことで、心を豊かにし、地域に誇りと愛着が持てるようにする。

◇進んで運動する子〈体〉

健康や体力の増進に取り組み、元気でたくましい児童を育成する。

児童理解を深め、一人一人の自己実現を支援する個に応じた教育活動を行う。

体力の向上

- ① 家庭と連携した安全教育・健康教育を推進し、心身ともに健康な児童を育成する。
- ② 「体を動かす楽しさと爽快感」が実感できる運動習慣の定着に努める。
- ③ 「スポチャレいしかわ」「いしかわっ子駅伝」等に積極的に参加し、自身の新たな挑戦心を育み、努力しやり遂げることで生まれる達成感「感動」を味わうことができるようにする。

地域と連携し、地域のよさを生かし、地域に根ざした教育活動を展開する。

家庭、地域との連携

- ① 地域の声や、保護者の思いを大切に受けとめていく。
- ② 地域の人材・素材を活用・教材化し、地域の教育力を生かした教育課程を編成し実践する。
- ③ 学校公開、授業参観を定期的に行い、地域に開かれた学校づくりを行う。
- ④ 学校、保護者、地域の連携を生かし、より良い学校教育の実現を目指す。

一人一人の教職員が個性を生かし、教育目標の具現化に向かって協働して学校教育を推進する。

組織力の向上

- ① 学校経営参画意識の高揚を図り、各主任を中心に全職員が一丸となって組織的な校内指導體制を推進する。
- ② ベテランと若手が互いに学び合い、お互いの良さを認め、学校力を向上させる。

めざす教師像

- ① 子どもを愛し、子どもと共に伸びる教師
- ② 学び合い、自己を磨く教師
- ③ 学校組織の中で自己の役割を自覚し、協働しながら能力を發揮する教師
- ④ 保護者、地域住民から信頼される教師